

平成28年11月17日

保護者様

横浜市立山内小学校
校長 基野 啓司
児童いじめ防止委員会

第2回山内小児童いじめ防止委員会の報告

日頃より本校の教育活動に多大なるご支援ご協力をいただきありがとうございます。

11月2日（水）に、3年生以上のクラス代表、青葉警察署員、PTA代表者、教職員が本校体育館に集まり、「第2回山内小児童いじめ防止委員会」を行いました。

第2回の話合いについてご報告させていただきます。

【テーマ】 だれもが安心して生活できる いじめがない山内小をつくろう

【参加者】 3年生以上クラス代表児童各2名
青葉警察署員 PTA代表者 教職員



【内容】 「各クラスの取組と経過報告」
・各クラスの取組をふり返り、共有する。
「今後に向けて」
・ふり返りをもとに、今後どのように実践を進めていくか意見交換する。

【報告】

はじめに、6年代表児童から、いじめ防止委員会のここまでの取組について報告をしました。その中から、報告の中心となった「横浜こども会議」について掲載します。

横浜こども会議は、いじめのない社会をつくるために、小中学生が集まって知恵や意見を出し合う会議です。2回にわたって開催された会議に参加し、とても貴重で充実した時間を過ごすことができました。

7月15日の「横浜こども会議」は山内中学校で行われました。「だれもが安心して生活できる子ども社会をつくろう」というテーマで話合いがありました。山内中学校、山内小学校、元石川小学校、新石川小学校、美しが丘西小学校の5校の代表が集まって話し合いました。話し合った結果「思いやりの心をもつことが大事」ということをみんなで確認しました。

9月2日は青葉区31校の小中学生が青葉区役所に集まり話合いをしました。会議の中で、「仲良くしてあげる」ではなく「みんな本当の仲良しになることが大切」という言葉があって、とても心に残っています。「〇〇してあげる」という気持ちでは、本当の仲良しとは言えないからです。私が子ども会議に参加して考えたことは、「思いやりの心をもって周りに積極的に声をかけ、安心してみんなが生活できているか気配りをする」ということです。積極的に話しかけると自然とみんなが仲良くなれたり、相手のよいところを認めたりすることができます。そうすることが、いじめをなくすことにつながっていくと思います。

山内小児童いじめ防止委員会 6年代表

その後、グループごとの情報交換をしました。3年生以上の代表児童は、6つのグループに分かれて、取り組んできた活動の成果や課題を発表し、意見を交わしました。青葉警察署の方、PTA代表の皆様、そして教職員もそれぞれのグループに加わり、活発な意見交換を行いました。

各グループの話合いから

- 「言葉」はとても大切です。相手の気持ちを想像して話すことが重要です。
- 「やめて」の言葉の裏を考えることが必要です。
いじめは「しない」「させない」「ゆるさない」こと。
- 友達から注意されるとくやしい気持ちになるが、よいところを見つけてお互いほめ合えると雰囲気がよくなります。
- クラスのみんなで遊ぶことによって、交流が深まり会話が増えます。注意の仕方が難しいけれど、その人のためやクラスのためには声をかけていけるとよいです。
- クラスレクを企画し、くり返していく中で、信頼関係が深まり雰囲気がよくなってきました。いじめのないクラスにするには、「小さなことで怒らない」「悪口を言わない」ことに気をつけることが大事です。いじめ防止委員会の取組があってから、クラスではけんかがなくなってきました。
- 「みんなで」という意識で、クラスレクを行っています。友達のよいところを見つけて、帰りの会で発表する場をつくっています。
まずは、話すことが大切です。話さないと思い込みでうまくいかないこともあります。いじめ防止委員会の活動を通して、話すきっかけ、遊ぶきっかけをつくることができました。



【学校長より】

いじめは、命にかかわる重要な問題です。山内小学校のみんなが、いじめをなくすことに高い意識をもつことが大切です。クラスで積み重ねてきたものを今後の活動へとつなげて、もっともっとよい山内小学校にしていきたいと思います。



【参加者の感想】

- 他のクラスの意見も聞くことができよかったです。(児童)
- 今回の話し合いを自分たちのクラスにも取り入れていきたいです。(児童)
- 「相手を思いやる」という気持ちをみんながもっていることに感心し、安心しました。できたから終わりではなく、継続してよりよくしていこうという思いが感じられました。(PTA)
- この活動そのものが、とても「素晴らしい」と感じました。この取組をぜひ続けていってほしいと思います。(PTA)

【おわりに】

山内小学校は、「だれもが安心して生活できる、いじめがない学校」を目指しています。その一環として、今年度から児童が主体となり、活動をつくり上げていく初めての取組を進めてきました。直接的な指導ももちろん大切ですが、未然防止のために「いじめのない風土づくり」を進めているところです。

これらの取組には、ご家庭、地域のご理解とご協力なしでは成り立ちません。今後とも、子どもたちの健全育成にお力をお貸しいただきますようお願いいたします。